

支・励・睦

校訓『自主・創造・友愛』
稲美町立稲美中学校 学校便り「支・励・睦」

《第 3 号》 令和7年5月29日 発行

文責：学校長 奥 陽一

環境が呼び覚ます成長の力 ～修学旅行・野外活動を終えて～

5月中旬に3年生は修学旅行、1年生は野外活動に行ってきました。3年生とは、ともに沖縄をめぐり、多くの出来事に心を動かされ、集団や個人が目を見張るような成長を見せて学校生活に戻ってきました。また、1年生もハチ高原の自然のもとで学級の仲間とともに力を合わせて活動を行ったことを聞くことができました。

こうした校外活動を終えて感じることは、普段の学校生活とは異なる環境において、生徒たちは驚くべき変化を見せることです。

環境が生み出す可能性を自らの力に

修学旅行では、平和祈念公園で地元のガイドさんと熱心に語り合い、「歴史のこと全然知らなかった。もっと本とか読んでみよう」と目を輝かせていました。普段の授業とは異なる姿を、積極的にになっていることを教科の先生から聞くことができました。また、多くの生徒が班の仲間たちと自然に笑い合い、積極的に地元の方々と交流を図っていたことにも感激しました。「いつもと違う環境だからこそ、新しい自分になれる気がする」と語った声が聞こえて印象的でした。生徒同士が、ともに活動し寝食を共に地元の方々と過ごす中で互いの良さを発見したのではないのでしょうか。沖縄伊江島という空間で仲間と過ごす時間が、生徒たちの心を大きく成長させたのです。



伊江島民泊のお別れ

1年生の野外活動でも多くの変化がありました。自然豊かな環境の中で、生徒たちが、あふれる緑に感動し、仲間と語り合い、協力する時間を心から楽しんでいました。印象深かったこととして、班のメンバーが協力して過ごしたことを「協力して何かをなしとげることが嬉しい」と感想に記していたことです。自然という大きな環境と、支え合う仲間という良い環境が、さらなる力を引き出し、活動の充実に変えていったのでしょう。

これらのエピソードが教えてくれるのは、良い環境と良い仲間に恵まれることで、人は驚くほど大きく変わることができるということです。人にはみな同じ1日24時間という時間があります。その同じ時間軸でどのような相手と過ごし、どのような環境に身を置くかによって、私たちの成長は大きく左右されます。

修学旅行で大きく変化した3年生たちは、互いを高め合う仲間関係の中で、今まで気づかなかった自分の可能性を発見しました。野外活動で心を開いた1年生たちは、自然の美しさと支えあう仲間に触れて、自らの優しさや積極性を発揮しました。良い環境が人を変える力を、まざまざと見せつけられた思いです。

さて、皆さんに伝えたい大切なことはここからです。皆さんには重要な分かれ道が示され

ることになります。ここで得た気づきや感動を一時的なものに終わらせず、自分自身で決めた目標に向かって継続的に努力できるか。環境に甘えることなく、自分の内側から湧き上がる向上心を大切にできるか。この自律する力があるかないかで、同じスタートラインに立った人たちの間に、時間が経つにつれて大きな差が生まれていきます。

私たちの身の回りには、さまざまな誘惑や言い訳の材料があふれています。「友達がいないから」「先生が厳しいから」「家庭環境が・・・」。確かに環境は私たちに影響を与えますが、最終的に自分の行動を決めるのは自分自身です。

中学時代は、社会に向けて視野を大きく広げる大切な時期です。学校、学級という小さな社会から一歩外に出ると、多様な価値観を持つ人々との出会いが待っています。その時、環境の責任にしていれば、せつかくの成長の機会を逃してしまいます。

修学旅行で見知らぬ土地の人々と交流した3年生、野外活動で自然の豊かさと美しさを体感した1年生。彼らが体験したのは、教室では学べない「生きた社会」です。そこで学んだことを日常生活に活かし、自らを律する力を育ててほしいと思います。

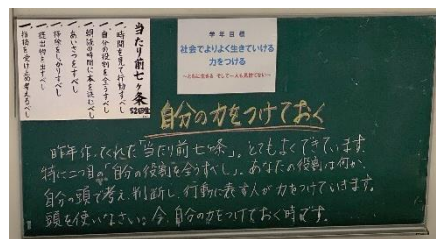
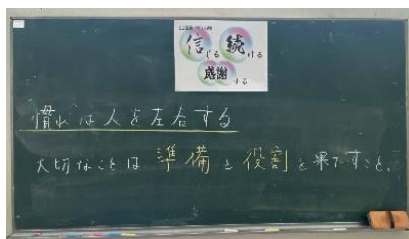
これからも様々な場面で、心地よい環境に安住したくなる瞬間があるでしょう。しかし、そんな時こそ、修学旅行や野外活動で見た成長を思い出し、さらなる高みを目指してほしいのです。体験で得た気づきを大切にしながら、自らを律して努力を続ける。与えられた時間をどう使うか、恵まれた環境をどう活かして更に成長するか。その積み重ねこそが、本当の意味での成長となり、未来への大きな財産となるのです。



カレー作り

学年の掲示板から

校内の学校生活を見て回っていると、5月の1年生と2年生の学年黒板の記載に目が留まりました。ここには、各学年の皆さんへのメッセージが届けられています。この中に共通するキーワードがあることに気づきました。「役割」です。



学校や学級は、これから君たちが踏み出す一般社会とつながる「小さな社会」です。皆さんが学校生活で行っている大小さまざまな役割は、学校、学級という社会の環境を良くする重要な仕事なのです。「見えないところだから」と手を抜けば、皆さんの社会が傾きます。しかし、一人ひとりが丁寧に役割を果たすことで、みんなが気持ちよく過ごせる環境が作られます。この積み重ねが、将来社会人として職場や地域社会で責任を果たす力につながっていくのです。



6月の行事予定



2～6日 (金) トライやる・ウィーク (2年)
9日 (水) 各委員会
10日 (火) 全校委員会
12日 (木) 歯科検診 (全校)
13日 (金) 郡総体抽選会
14日 (土) 郡総体(陸上競技)

18日 (水) 期末テスト (給食なし)
19日 (木) 期末テスト (給食なし)
20日 (金) 期末テスト、避難訓練
トライやる・ウィークお礼訪問 (2年)
25日 (水) 創立記念日 部活動壮行会
27日 (金) 特別支援学級交流会
郡総体

